

**(3) 高齢者人材名簿への登録と周知**

- ① 高齢者人材活用登録研修会修了者 285名を高齢者人材名簿に登録した。

指 導 分 野	登録者数
ア 生活伝承文化に関する指導者	31名
イ スポーツ、健康増進に関する指導者	49名
ウ 社会奉仕活動、団体活動に関する指導者	6名
エ 教養の向上、学習に関する指導者	108名
オ 趣味、生活文化、生活技術に関する指導者	91名

- ② 高齢者人材名簿を作成し、市町村教育委員会、公民館社会教育関係団体、小・中・高校に配布して、人材登録者の周知に努めた。

**(4) 高齢者人材登録者の活用**

- ① 登録者を市町村教育委員会、公民館等の社会教育施設社会教育関係団体及び学校等が実施する次の事業・活動の講師・助言者・指導者として活用した。
  - ア 学級・講座、講習会等での指導
  - イ 子ども会、青年会、婦人会、老人クラブ、PTA等の社会教育関係団体での指導
  - ウ 社会教育施設等の事業での指導
  - エ 小・中・高校における社会教育的活動での指導
- ② 登録者の活用の実績（活用延人数）

活 用 区 分	活 用 回 数	
市 町 村	公 民 館	1,254
	そ の 他	387
学 校 (小・中・高校)		307
社 会 教 育 関 係 団 体		597
グ ル ー プ、サークル		2,291
そ の 他		326
計		5,162

**5 婦人団体後継者養成研修会**

**(1) 趣 旨**

婦人団体のもつ役割を検討し、団体の運営や活動等について研究し合い、後継者としての資質の向上を図り、健全な婦人団体の育成に資する。

**(2) 期日、会場、参加者**

- ① 期 日 昭和59年6月5日(火)～6月6日(水) 1泊2日
- ② 会 場 勸福島県婦人会館
- ② 参 加 者 98名

**(3) 内容及び方法**

- ① 研究主題 「婦人団体活動の問題点とその対策」
- ② 講 義
  - ア 59年度県婦人団体の重点施策と単位婦人団体の事業のあり方
  - イ 地域婦人団体に期待するもの

**③ 研究協議**

ア 婦人団体活動の問題点とその対策

**④ そ の 他**

- ア フィルム・フォーラム 「共に生きる」
- イ 実技 「婦人の室内ゲーム」
- ウ 演習 「会議の進め方」

**6 婦人国内研修**

**(1) 趣 旨**

婦人の代表者を県外に派遣し、都市及び町村における婦人の生活・学習・団体活動・社会教育施設等の実地視察・研究調査を行い、社会的視野を広め、指導者としての資質の向上を図る。

**(2) 期日、派遣先、参加者**

- ① 期 日 昭和59年9月18日(火)～22日(土) 4泊5日
- ② 派 遣 先 埼玉県・神奈川県
- ③ 参 加 者 7名 外に引卒1名

**(3) 視察調査地並びに研修内容**

- ① 埼 玉 県
  - ア 国立婦人教育会館での学習（国連婦人の地位委員会委員・縫田暉子氏の講義を聴講）
  - イ 国立婦人教育会館施設の見学
- ② 神 奈 川 県
  - ア 藤沢市・鎌倉市の婦人学習活動の現状と課題（両市の婦人団体会員との交歓）
  - イ 神奈川県立婦人総合センター施設の見学

**7 婦人学級生研究大会**

**(1) 趣 旨**

県内の婦人学級の代表及び婦人教育関係者が一堂に会し、婦人学級の運営・学習活動について発表交換・研究協議を行い、婦人学級の改善充実を図る。

**(2) 期日、会場、参加者**

- ① 期 日 昭和59年11月20日(火)～21日(水)
- ② 会 場 相馬市民会館(受付・開会式・講演)、相馬市役所正庁(部会)、相馬市共同福祉施設(全体会・講演・閉会式)
- ③ 参 加 者 婦人学級生・婦人教育関係者等 462名

**(3) 内 容**

- ① 研究主題
  - 心豊かな家庭と地域づくりをめざした生涯の各時期における婦人の学習課題を考える。
- ② 講 演
  - ア 婦人の学習活動の現状と課題  
横浜国立大学教育学部助教授 牧野 カツ子
  - イ 心豊かな家庭と地域づくりに果たす婦人の役割  
福島民報編集局次長 源 健
- ③ 研究協議
  - ア 協議題
    - (ア) 家庭や地域社会における婦人の役割
    - (イ) 生涯の各時期における婦人の学習のあり方
  - イ 構 成 8部会
  - ウ 部会別参加対象